

コアとなる事業の概要3つ（事業のタネ）

活動地域・団体名：認定NPO法人まちづくりネット東近江

今後地域の将来像を実現するために取り組む事業を3つ書いてください。

1 事業名称：湖東信用金庫および東近江三方よし基金が連携する制度融資制度		
事業概要	事業の内容	現時点で想定される課題・ボトルネック
<p>持続可能な社会の実現に貢献する融資制度を創設する。環境・経済・社会の視点から東近江三方よし基金が環境円卓会議と連携して公益性の評価を実施し、湖東信用金庫の提携融資制度の審査に反映する。基金と信金は連携して伴走支援を行う。（融資条件：上限500万円、融資期間7年以内（2年以内据え置き可）、固定金利）この制度により、SDGsに貢献する企業活動を地域の資金で応援することが可能となる。</p>	①なぜこの事業をやるのか（Why）	地域金融機関の預貸率は40%程度に落ち込んでおり、市民の預金 が市内に流通していない現状がある。
	②どの地域資源を活用するか	地域金融機関の預金
	③商品・サービスの具体的な内容は何か（What）	制度融資
	④誰がこの事業の主たる担い手か（Who）	湖東信用金庫と東近江三方よし基金
	⑤この事業により地域内で何が循環するか またはどのような循環が起こるか	資金の循環（持続可能な社会を実現するための融資制度）
		<p>信金担当者が、環境・経済・社会の視点について理解し、融資相談に 来た事業者等へ制度融資の利用を説明する必要がある。 →基金と信金で人材育成の仕組みづくりを行う。 利子補給を実現する財源確保</p> <p>課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像 社会的投資に特化した金融会社</p>

2 事業名称：TSUNAGU野菜プロジェクト（仮）		
事業概要	事業の内容	現時点で想定される課題・ボトルネック
<p>市の遊休地を活用して野菜の有機栽培を農福連携で実現するプロジェクト。湖東信用金庫、能谷大学、UR都市機構、東近江三方よし基金等が連携して資金調達から技術的なサポート、商品のブランド化等を実現する。障がい者雇用後の退職者や働きづらさを抱える若者などの雇用を創出する。これにより、都市と農村をつなぐ新たな産業づくりを実現すると共に、ケアの自給圏づくりにも貢献する。</p>	①なぜこの事業をやるのか（Why）	販売先の確保と流通網の確立 →オーガニック野菜を活用する食品加工業者との契約栽培等
	②どの地域資源を活用するか	遊休農地
	③商品・サービスの具体的な内容は何か（What）	有機栽培した野菜
	④誰がこの事業の主たる担い手か（Who）	中間的就労を実現する団体
	⑤この事業により地域内で何が循環するか またはどのような循環が起こるか	資金の循環（野菜の販売、雇用、社会的投資）
		<p>課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像 有機野菜を求める加工業者</p>

3 事業名称：東近江の森と人をつなぐあかね基金助成事業		
事業概要	事業の内容	現時点で想定される課題・ボトルネック
<p>企業や個人の寄附を財源として創設された「東近江の森と人をつなぐあかね基金」を活用して、助成事業を実施する。森林保全や森林・木材の活用、森林文化の継承などを実現する取組を支援する。申請書類には、環境（脱炭素や生物多様性保全）、経済（地域経済の循環）、社会（人と人がつながる時間）への貢献について記載し、目標設定する。</p>	①なぜこの事業をやるのか（Why）	環境・経済・社会の定量評価に抵抗のある団体が多い →研究者と共に、事業探択者への伴走支援を行う。 事業継続のため、毎年寄附者を募る必要がある。
	②どの地域資源を活用するか	地域の森林、木材、歴史文化等
	③商品・サービスの具体的な内容は何か（What）	地元産木材や森林を活用した商品、サービスを提供する団体を助成 金で支援する。
	④誰がこの事業の主たる担い手か（Who）	東近江三方よし基金
	⑤この事業により地域内で何が循環するか またはどのような循環が起こるか	資金の循環（寄附、商品・サービスの売上）
		<p>課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像 東近江の森と人をつなぐあかね基金に寄附して下さる企業</p>